

TOYOTA

ART

ARTS LINK 連続フォーラム vol.2

アートNPOリンク企画セッション

アートNPO的!? 経営戦略

ー大阪・フェスティバルゲートをケーススタディにー

DESIGN IMAGE
IDENTITY SERVICE

トヨタ・アートマネジメントフォーラム2007参加企画
「なぜ、いまアートなの? ーアートのカ、アートの社会的価値を考えるー」

2007.3.3.sat. @ TOYOTA

BRANDING
HARMONIZATION

NPO

トヨタ・アートマネジメントフォーラム2007 アートNPOリンク企画パネルディスカッション
「なぜ、いまアートなの? —アートの力、アートの社会的価値を考える—」

アートNPO的!?

経営戦略

大阪・フェスティバルゲートをケーススタディに

日時 2007年3月3日(土) 10:30~18:30 (10:00開場)
うち、アートNPOリンクが企画するセッションは、分科会[D] 14:00~15:30

会場 トヨタ自動車東京本社ビル B1Fホール、2F会議室、B3F体育室
(東京都文京区後楽1-4-18)

定員 250名 (フォーラム全体の参加定員。応募多数の場合は抽選。2/20申込締切)

参加費 1,000円 (交流会は別料金)

申込方法 フォーラム公式サイト専用フォームから申込みを受付けます。
または、FAXか郵送で下記項目をお知らせください。

<http://www.nettam.jp/forum07/> fax. 03-3215-6222

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階

[社]企業メセナ協議会内 ネットTAM運営会事務局

トヨタ・アートマネジメントフォーラム2007係

①氏名、②郵便番号・住所、③電話番号・FAX番号・E-mail、

④ご職業(所属団体/役職、学校名/専攻など)、

⑤参加分科会 (A・B・Cから第1、2希望/D・E・Fから第1、2希望)、

⑥交流会参加の有無 (別途参加費1,000円が必要です)

*詳細・全プログラムはフォーラム公式サイトをご覧ください。

*電話でのお申込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。

*ご応募の際にお送りいただいた個人情報は、本件に関するご連絡および今後のご案内にのみ使用します。事務局にて厳重に管理し第三者に提供することはありません。

*全国アートNPOフォーラム in フェスゲ!とは申込先が異なります。

問合せ先 ネットTAM運営事務局 [社]企業メセナ協議会内 (全体問合せ)
tel. 03-3213-3397 E-mail kmk@mecenat.or.jp

NPO法人アートNPOリンク事務局 (このセッションに関する問合せ)
tel. 075-231-8607 E-mail forum@arts-npo.org

URL <http://www.nettam.jp/forum07/>

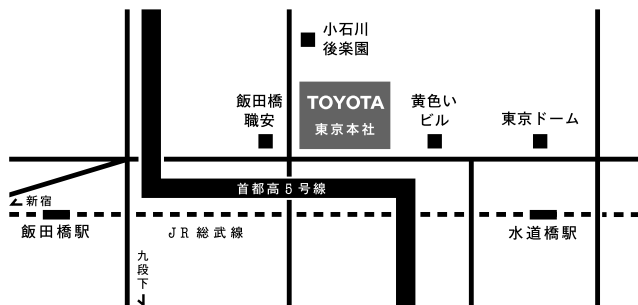
主催 トヨタ自動車株式会社

協力 社団法人 企業メセナ協議会、SETENV

運営 トヨタ・アートマネジメントフォーラム2007実行委員会、ネットTAM運営事務局

企画 NPO法人アートNPOリンク (分科会[D]のみ)

アクセス



トヨタ自動車東京本社 (文京区後楽1-4-18) ■ JR 総武線「水道橋」駅西口・「飯田橋」駅東口 徒歩5分
■ 地下鉄 東西・南北・有楽町線「飯田橋」駅A1出口 徒歩5分/大江戸線「飯田橋」駅C2出口 徒歩3分

地域の文化政策を推進するアートNPOは、いま新たな局面を迎えています。アートNPO法人設立数は1700を超え、全国でNPOによるさまざまな芸術文化活動が展開されるようになりました。しかし、アートと社会をつなぎ、社会の多様性と創造性を育む役割を標榜するアートNPOは、どれほど社会にその役割が理解され、インパクトある活動ができているのでしょうか。

このパネルディスカッションでは、アートNPOがアートの役割を最大限発揮し、これまで見落とされてきた社会的リソースを再発見、活用、実践する力をもつことを目的に、企業が蓄積するマネジメントやブランドづくりに関するノウハウの伝授を目論みます。

この場を、先に開催する『全国アートNPOフォーラム in フェスゲ!』に続く連続フォーラムと位置づけ、巨大商業施設「フェスティバルゲート」をさまざまなNPOが活動する公共の場としてひらくことをケーススタディに、近代産業遺産や機能不全を起こした商業施設をアートの転用することの必要性と可能性を考えます。

そして、アートNPOが事業開発能力を高め、社会的インパクトを与える「ブランド力」をつけること、また、マネジメントにおける民間営利組織と民間非営利組織の立ち位置の違いが見えてくることでの相互補完の意義を探ります。

パネリスト・プロフィール

大谷 燦 おおたに いく

NPO法人 DANCE BOX Executive Director

1991年から2001年までTORII HALLプロデューサー。1996年「DANCE BOX」を立ち上げ、ジャンルを超えたコンテンポラリーダンスの公演・ワークショップを年間約30本企画制作する。2002年DANCE BOXをNPO法人化。大阪・新世界フェスティバルゲート内に「Art Theater dB」を開設し、アーティストの育成と地域社会とアートの新しい環境づくりに力を注ぐ。近畿大学国際人文科学研究所講師。関西社会経済研究所文化アドバイザー。



甲斐賢治 かい けんじ

NPO法人 記録と表現とメディアのための組織 [remo] 理事

NPO法人 地域文化に関する情報とプロジェクト [recip] 理事

NPO remoでは「個々人がメディアを活用し、自らの環境を作り出す力の創出」を、NPO recipでは「文化の地産地消サイクルの起動」を目論み、さまざまな場やメディアづくりに動かし、「ここ」に、「個々」が持つ多様な価値判断から沸き立つダイナミックな化学反応がおきれば、有機体である僕らならきつと精神まで活性するに違いない。



細谷正人 ほそや まさと

ランドーアソシエイツ/TOKYO シニア・コンサルタント

法政大学工学部建築学科卒業後、大手広告会社を経て、2002年ランドーアソシエイツに入社。これまでの主な仕事として、森永乳業「森永のおいしい牛乳」「Mt.Rainier カフェラッテ」、オリエンタルランド「東京ディズニーシー」、富士ゼロックス「アペオス Apeos」、大塚製薬「ソイジョイ SOYJOY」、ポッカコーポレーション「じっくりコトコト煮込んだスープ」、味の素「カプシエイト ナチュラ」、数島製パン「Pasco」、ホーユー「hoyu」など、企業及び商品ブランドの構築、ネーミングからデザインまで幅広いクリエイティブ視点でのブランド戦略を行っている。

